

7月28日15時30分小雨の中両津港を出港した。オールナイトで走り船川港に29日18時15分入港、接岸。両津のエイトリカンの航海です

翌30日海上濃霧注意報が出ているので出港を見合わせ待機。近くの船舶食堂でブランチ安くてうまい。艇内外の整備

31日絶好の出港日和だが、朝クルーが腹痛を訴えたので、近くの町医者へ行くも病名不明で市民病院を紹介される、市民病院で診察を受けると腎盂炎と診断され、入院が必要との事。さ〜て困った、病人一人を置いて出港する分けにも行かないと思い、一人を着き添いに残し、佐渡へヨットを返し、陸路付き添いの交代に再度船川へ電車で戻ろうかと考えていたら、我々がクルージング中だと聞きつけた、看護婦と、医者が、完全看護だから付き添いは不要です、特に婦長と思われる人からは私たちが責任を持って預かりますから、皆さんクルージングを続けて下さいと言われました。有難う御座います、感謝です。

15時50分船川港を出港オールナイトです。夜中に、黄金岬、小泊岬をかわし1日10時10分松前港に入港、入道崎—松前間87マイル、平均6.2ノットでした。松前港泊りです。

2日10時松前港出港して18時15分函館港入港。

函館港に入港して、泊地を探していたら、多数のマストを見つけ近寄って行くと、大きな台船にクルーザーを槍付にして係留して有りました。我々が艇を寄せて行くと、数人で自分達のヨットを移動させて、我々の係留場所を開けてくれ、ここに着けなさいと言ってくれました、また波でマストが干渉しない様に付け方まで教えてくれました。有りがたい事です。今回のクルージング中初めての晴れ、快適なセーリングでした。ワイン、シャンパンで乾杯。これも旨かったが航海中船川で買った高清水の四合瓶キンキンに冷やして飲んだが、旨かった、一升瓶にすれば良かった。

当日は函館港祭りで目の前にアンカリングしてある台船の上から花火を打ち上げると教えて頂いたので、飲みながらの花火見物です。ドカーン、ドカーンと腹に響く音を聞きながら花火を楽しんでいると、デッキ上にパラパラと花火の外側の丸い紙ケースが落ちて来るでは有りませんか、やばいニューセールに焦げ目が付く、と慌ててセールを取り込みました。楽しいクルージングのひとつまでした。

N

後日談 2015年函館のヨットが新潟に寄港しました。帰省中の近藤と市場で船内泊して飲む積りで旧水揚げ場に行くと旅の艇がいたので、訪船して飲みながらお話しすると、なんとオーナーは函館の人、オーナー夫妻と4人して飲んで大いに盛り上がりました。

この艇の係留作業はメロデイの菅さんはじめ皆さんがやってくれていました。

翌朝早々に海人を定位置に戻し、翌々日旅のヨットのゴミの回収と八海山の差し入れを持って出港の見送りに行きました。淡々と出港準備をして、淡々と出港していきました。慣れているなーと言う感じで見えていましたが、見事な出港作業でしたよ。